


令和6年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和7年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	えひめ青少年ふれあいセンター (昭和57年4月1日)	所在地 電話 H P	愛媛県松山市上野町甲560番地 089-963-3166 http://www.i-fureai.jp/
県所管課	観光スポーツ文化局文化局まなび推進課	指定管理者の名称	株式会社レスパスコーポレーション
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	利用料金制	○ あり なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	共同生活を通じ心身ともに健全な青少年を育成し、家族、青少年等の触れ合いを図り、及び県民の生涯にわたる学習活動を支援するために必要な青少年の研修の実施並びに家族、青少年等の交流の機会及び県民の生涯にわたる学習活動の場の提供	施設の外観
施設内容	管理研修棟(オリエンテーション室、音楽芸能室、研修室1～3、図書室、集会室、創作活動室、講師控室、作法室)、体育館、宿泊棟(宿泊室、浴室、食堂、ロビー、談話コーナー)	
指定管理者が行う業務	○ふれあいセンターの事業の実施に関する業務(青少年の団体宿泊訓練、青少年の教育に必要な研修等) ○ふれあいセンターの利用の許可に関する業務 ○ふれあいセンターの利用に係る料金の収受に関する業務 ○ふれあいセンターの利用の促進に関する業務 ○ふれあいセンターの施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ○その他知事が定める業務	
施設の管理体制	<div><div><div>所長</div><div>副所長</div></div><div><div>生涯学習センター</div><div>ふれあいセンター</div></div></div> <div><div>本部長</div><div>営業推進部長</div><div>取締役事業部長</div><div>広報企画係</div><div>施設管理係長</div><div>料款管理係</div><div>経理係</div><div>総務・人事係</div></div>	

3 検証のための指標の推移

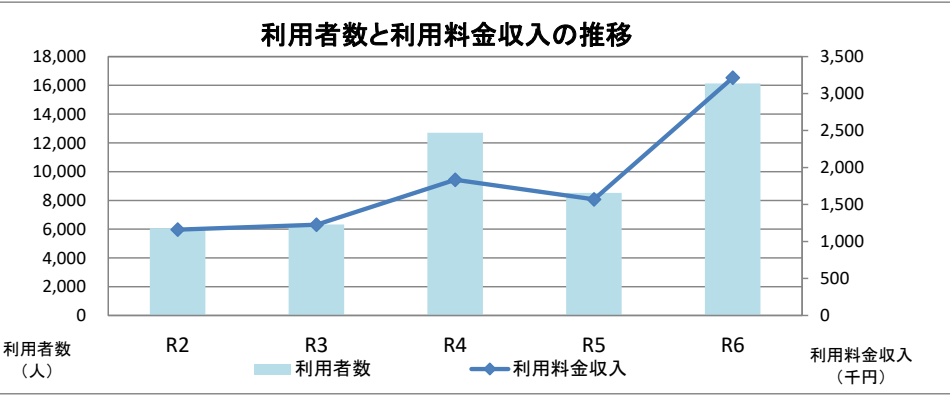
(1)利用者数

年	度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年	間	利	用	者	数	
		6,064 人	6,329 人	12,702 人	8,518 人	16,140 人

(2)収支状況

年	度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収	(A 入)	185,812 千円	186,644 千円	197,444 千円	216,757 千円	245,407 千円
	委 託 料	163,371 千円	163,371 千円	163,372 千円	183,632 千円	200,280 千円
	委託料(補正額)※1	4,279 千円	2,683 千円	3,726 千円	0 千円	0 千円
	利用料金収入(合計)	9,234 千円	11,624 千円	15,399 千円	17,111 千円	17,353 千円
	利用料金収入(青少年ふれあいセンター)	1,160 千円	1,227 千円	1,835 千円	1,570 千円	3,214 千円
	利用料金収入(生涯学習センター)	8,074 千円	10,397 千円	13,564 千円	15,541 千円	14,139 千円
	そ の 他 収 入	8,928 千円	8,966 千円	14,947 千円	16,014 千円	27,774 千円
支	(B 出)	185,812 千円	186,644 千円	197,444 千円	212,673 千円	238,508 千円
	事 業 費	19,870 千円	21,637 千円	24,229 千円	29,064 千円	34,495 千円
	維 持 管 理 費	50,189 千円	45,927 千円	49,437 千円	59,700 千円	69,952 千円
	人 件 費	79,674 千円	77,584 千円	82,857 千円	79,877 千円	83,550 千円
	そ の 他 支 出	36,079 千円	41,496 千円	40,921 千円	44,032 千円	50,511 千円
収	(A) - (B)	0 千円	0 千円	0 千円	4,084 千円	6,899 千円

(※1) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載
(※2) 表中の各数値について、一体的管理を行う愛媛県生涯学習センターと合わせた金額を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

青少年ふれあいセンターでは、令和5年度は耐震改修工事による臨時休所のため大幅に利用者数が減少していたものの、令和6年度は団体の日帰り利用回数や宿泊利用者が増加したことに伴い、施設利用料をはじめ利用料金収入が増加した。

4 管理運営の評価

(1)提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
○申請書が提出された時点で、速やかに申請内容を精査して宿泊人数、付帯施設の使用の有無、食事数、入浴時間等各団体間の調整を行い、受け入れた。 ○オリエンテーションや代表者との打ち合わせを通じて施設の役割、目的等を説明し、円滑な施設運営を行った。また、朝・夕のつどいを通じて宿泊団体の交流や親睦を図り、研修指導員として適切な生活指導を行った。 ○小学生親子を対象とした自主事業としてふれあいサマーチャレンジ2024を実施した。	サマーチャレンジは、宿泊体験活動を通じて親子のつながりを深めるとともに、家族同士の交流を図ることを目的に開催しており、県外を含め7組23名が参加し、アンケートからは満足された様子が伺えた。食事については、グループ企業に飲食部門を有する強みを活かしており、接客についても利用者の要望やアンケート調査をもとに、よりよいサービス提供に努めており、高い評価を得ている。	A

(2)施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
○男子トイレの一部を自動洗浄機能付きに変更するとともに、管理研修棟の女子トイレの洋式化を行い、清潔な状態の維持と快適な環境の提供を図った。 ○照明機器のLED化を進め、最適な照明空間とランニングコストの軽減・標準化を図った。 ○集会室の音響設備を更新し利便性の向上を図った。	施設の老朽化が進行する中であって、不具合が発生した場合の報告や修繕を適時実施しており、利用者の安全性・快適性の確保に大きく貢献している。全体的に空調設備の劣化が進む中、宿泊棟食堂の機器入替を行い快適な環境を整えるなど、指定管理者として可能な範囲でできる限りの対応を行っている。	A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

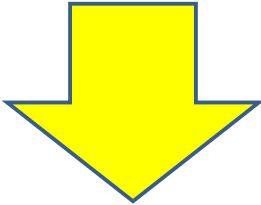
指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○利用団体の代表者に職員から直接アンケートの回答をお願いし、回収率アップに努め、158団体から回答をいただいた。 ○センターのホームページの活用や研修目的の達成について情報収集し、研修目的を十分達成できた・達成できたとの回答を99%以上の利用者から得られた。 ○利用団体のアンケート結果を基に、顧客のニーズを把握して可能な限りの施設改修と接客サービスを行い、顧客満足度の向上に努めた。		職員の対応については好評であり、食事に関しても、アレルギー等へのきめ細かな対応が評価されている。 利用団体のニーズを把握するため、利用後のアンケート回収に努めるなど、施設面や運用面での可能な限りの改善を実施している。	評 価
			A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○ホームページのリニューアルを行い、デザインを刷新して効果的な情報発信を行った。 ○テレビのお天気フィラーで、生涯学習センターとともに施設紹介を行い、認知度アップに努めた。 ○生涯学習センターの利用者へ昼食提供や宿泊団体に対して生涯学習センターの愛媛人物博物館の見学を案内するなど、相互施設利用を行った。		ホームページのリニューアルを行い、イベント情報の案内や施設利用に関する情報等を効果的に発信しており、評価できる。新規利用団体には、お礼状を送付して再利用の促進を図っており、リピーターの確保にも努めている。	評 価
			A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
指定管理者制度導入後、利用者からはサービス面や柔軟性のある対応、食事のメニュー等において高く評価されている。施設の維持管理や修繕を計画的・効果的に実施しており、利用者の安全性・快適性の確保に努めている。令和5年度は耐震改修工事による臨時休所のため、利用者数が一時的に減少したものの、リピート団体の増加や新規宿泊団体の利用により、令和6年度は前年度比89.5%増となっている。少子化が進行する中で利用者を増やしていくためには、既存利用団体へのフォローをはじめ、法人等の社会人を含めた新規利用者の開拓にも力を入れていく必要がある。